



安全上のご注意

- 取り付け工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取り付けてください。
 - ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
	注意	「誤った取り扱いをすると人が軽傷を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があること」を示します。

- 取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

警告

取り付けはお買い上げ販売店、または専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電、火災の原因になります。

取り付け工事は、この取付説明書に従って確実にを行う
取り付けに不備があると、感電、火災、異常動作の原因になります。

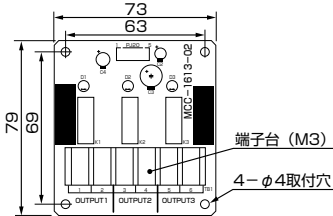
電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び取付説明書に従って施工する
施工不備があると、感電、火災の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定する
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。

絶対に改造はしない
感電、火災の原因になります。

修理はお買い上げの販売店に依頼する
修理に不備があると感電、火災、異常動作の原因になります。

外形図



付属部品

No.	部 品 名	個 数
1	接続ケーブル1 (CN511用)	1
2	接続ケーブル2 (CN514用)	1
3	固定用サポート	4
4	固定用結束バンド	1
5	結束バンド固定ねじ	1
	未使用ねじ	2
6	結束バンド	4

機種群

F	G
スーパーマルチmini MCY-MAP1シリーズ スーパーマルチmini暖太郎 MCY-MAP1シリーズ 設備用パッケージ 横吹きタイプ ROP-MAP1.2HCシリーズ	スーパーマルチmini MCY-MAP1シリーズ 設備用パッケージ 横吹きタイプ ROP-MAP2HCシリーズ
横吹きマルチ 2FAN	横吹きマルチ 1FAN

配線方法

	線長	サイズ	仕様
出力用 信号線	200m まで	0.75mm ²	VCTFビニル キャブ
	400m まで	1.25mm ²	タイヤ丸型 コード

取付方法

- (1) 取り付け作業の際は必ず電源を切ってください。
- (2) 電気部品ボックス内に「外部出力用 PC 板」を取り付ける前に、表示用出力線を接続してください。(配線方法の図参照のこと)
※最初に表示用出力線を接続しないと、接続しにくくなる可能性があります。
- (3) 「外部出力用 PC 板」は電気部品ボックスの下図の示す位置に取り付けてください。
- (4) 固定用サポートを用いて電気部品ボックス内の所定位置に「外部出力用 PC 板」を取り付けます。
- (5) 電気部品ボックス内の所定位置には固定用サポートの取付穴が 4ヵ所あります。
- (6) 「外部出力用PC板」上のコネクタ(PJ20(緑))と「インターフェース基板」上のコネクタ(CN511(緑))を付属の接続ケーブルで接続します。(下図参照)
動作内容については、裏面の「動作内容、電気配線図」を参照のこと。
- (7) 付属ケーブルは長いため、結束バンドで束ねてください。

基板取付位置

機種群F

※下記位置は最大3個使用する場合の取り付け例です。各基板はどこの位置でも取り付け可能です。
1個のみを取り付ける場合は、下記例のTCB-PCIM2の場所へ取り付けてください。

TCB-PCIM2
TCB-PCM02の場合

TCB-PCDM2の場合

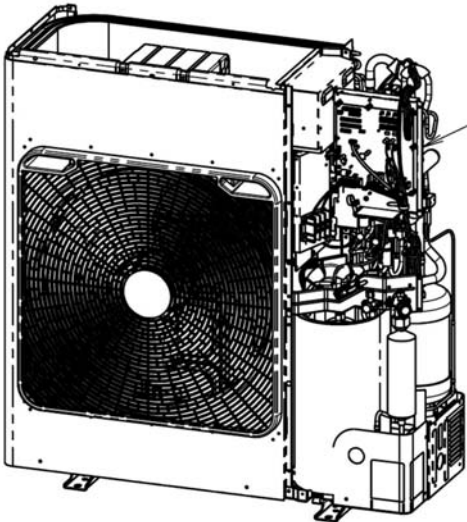
※インターフェース基板取付板の裏側です。

コネクタ位置
(最大取付枚数：1枚)

[基板取付位置]

機種群G

オプション基板はI/F基板取付板の裏側に取付け可能です。



I/F 基板取付板

最大2個取り付け可能であり、下図は2個取り付けた場合の例です。
各基板は上段、下段どちらでも取り付け可能です。

オプション基板
取り付け位置（上段）

オプション基板
取り付け位置（下段）

I/F 基板取付板裏側

TCB-PCDM2

TCB-PCIN4

TCB-PCMO2

コネクタ位置

CN511（緑）

室外機
インターフェース基板

動作内容、電気配線図

△ 注1）出力用リレー（K1,K2） 接点仕様

- ・出力用端子（OUTPUT1, 2）は右記の電気定格を満足してください。
- ・K1, K2負荷にリレーコイルなどの誘導負荷を接続する場合はバイパス回路に（ACの場合）サージキラー用CR、または（DCの場合）逆起電圧防止用ダイオードを挿入してください。

<電気定格>	AC200V	10mA以上1A以下
	DC24V	10mA以上1A以下（無誘導負荷）

《 運転・異常表示 》

- 機能
外部出力用 PC 板は室外機のインターフェース基板に接続することで運転・異常の外部取り出しが可能になります。
- 動作
運転出力：系統内の室内ユニットが 1 台でも運転しているとき、運転表示用の出力を行います。
異常出力：系統内の室内ユニットまたは室外機が 1 台でも異常が発生した場合、異常表示用の出力を行います。

●配線例

C1	接続ケーブル1
CN511	インターフェース側コネクタ（緑）
K1, K2	リレー
L1	異常表示用ランプ
L2	運転表示用ランプ
OUTPUT1	異常出力
OUTPUT2	運転出力
PJ20	オプション基板側コネクタ
PS	電源装置
TB1	端子台

《 コンプ運転出力 》

- 機能
室外ユニットに搭載している圧縮機について、圧縮機運転中信号を外部へ出力できますので圧縮機の運転経過時間カウンタなどに応用できます。
- 動作
圧縮機運転中はその圧縮機に該当する出力端子のリレーが on（クローズ）し、圧縮機停止中は off（オープン）になります。右図に示すように、出力端子は「OUTPUT1」です。

●配線例

C1	接続ケーブル1
CN511	インターフェース側コネクタ(緑)
CTR1	運転経過時間計 1
K1	リレー
L1	運転表示用ランプ
OUTPUT1	圧縮機運転出力端子
PJ20	オプション基板側コネクタ
TB1	端子台

《 運転率表示 》

- 機能
システム運転率信号を外部へ出力できますので、運転状態が遠隔確認できます。
- 動作
表に示すように、システム運転率に応じて各出力端子がon(リレークローズ)／off(リレーオープン)します。

●配線例

C1	接続ケーブル1
CN511	インターフェース側コネクタ(緑)
MONITOR	監視装置
OUTPUT1	各機能用出力端子
OUTPUT2	各機能用出力端子
PJ20	オプション基板側コネクタ
TB1	端子台

[MCY-MAP1シリーズ、ROP-MAP1、2HCシリーズの場合]

機 能	SW16	OUTPUT1	OUTPUT2	運転率FA
システム 運転率出力	ON	off	off	FA=0%
	OFF	on	off	0%<FA<50%
	bit1:ON	off	on	50%≤FA<80%
	bit2:OFF	on	on	80%≤FA

off=リレーオープン
on=リレークローズ

SN：CH49962101